



# 災害にも強い LPガス



やまくにスポーツパーク体育館

体育館空調で災害時にも大きな力を発揮する

『災害対応型LPガスバルク供給システム』『電源自立型GHP(ガスヒートポンプエアコン)』



中津市役所山国支所地域振興課主幹の高野順治さん。

人々の暮らしをさまざまなシーンで支えるLPガス。タンクで貯蔵されるため、系統供給される電気や都市ガスと違って「分散型エネルギー」としての強みを持つ。災害時に継続的、安定的にエネルギーを供給できることから、サステナブル(持続可能な防災対策の観点でも今、注目を集めている。

中津市山国町は域内に山国川水系と山間部を抱え、近年、激甚化、頻発化する集中豪雨の被害に悩まされてきた。中津市役所山国支所地域振興課の高野さんは、「倒木で電線が切断されて停電が発生するリスクもあり、以前は避難所が停電に陥ると電気機器が使えないため夏の暑さ、冬の寒さへの対応に苦慮していました。過去の被災を教訓に、現在、LPガスを防災対策に



大分県LPガス協会中津地区協議会会長の橋本一浩さん。

活用する取り組みを進めています」と話す。山国町平小野の『やまくにスポーツパーク』は競技場や野球場、テニスコート、バスケットコートなどを備える運動公園で、高台に位置するためその体育館は安全性の高い避難所の一つとして活用されている。高野さんの案内で体育館裏手に回ると、市が3年前に導入した「災害対応型LPガスバルク供給システム」、「電源自立型GHP(ガスヒートポンプエアコン)」が姿を現した。システムの設置とメンテナンスに関わるのが、大分県LPガス協会中津地区協議会会長の橋本さん。地震や津波など大規模災害により電気、都市ガスなどのライフラインが寸断された状況でも、LPガスを安全かつ迅速に使えるシステムです」と橋本さんは説明する。

ユニットのフタを開けて高野さんが内部を見せてくれた。このガス栓に



ユニットのフタを開けると10口のガス栓が備えられている。

右:災害対応型LPガスバルク供給システム(縦型500キロ型)。

下:「電源自立型GHP(ガスヒートポンプエアコン)」



左から高野さんと橋本さん。

ホースを接続して、炊飯器、コンロ、給湯器、暖房器具、発電機などをつなぐことができます。パワーのあるガス式のエアコンは体育館内の冷暖房をふだんから安定的に担っています。災害時には炊き出しを迅速に開始できます。令和4年9月の台風14号、令和5年6月30日～7月1日と7月10日～11日の大雨警報に続き、今年すでに大雨警報による避難所開設の機会がありました。住民の皆さまが体育館に避難され、快適に安心して過ごすことができましたと言われました。今後、中津市でも小・中学校などへの設置を進めて防災体制をさらに強固なものに整えていきたい」と高野さん。

災害対応型LPガスバルク供給システムと電源自立型GHP 発電機が付いており、停電時でも自立運転をして冷暖房でき、発電した電気で携帯電話充電器、パソコン、テレビなどの電源として使用可能)は大分県内でも学校や福祉施設、公民館などの避難所となる場所に多く設置されている。



子ども達の未来に炎の文化を伝えよう

LPガス販売店

大分県LPガス協会

検索

一般社団法人 大分県LPガス協会

〒870-0901 大分市西新地1-9-5

TEL.097-558-5483